

職場体験感想文コンクール2025

タイトル	もしかしたら、君も	事務局	4-3
学校名	酒田市立第四中学校	氏名	高橋 麗菜

「将来の夢は？」

おそらくだけれど、君も一度は聞かれたことがある質問ではないだろうか。私はというと、もちろん何度も聞かれたことがあって、「お医者さん」だとか、「お花屋さん」と毎回適当に返答していた。どれも目指す気なんてさらさら無かった。

総合的な学習の時間のとき、探究学習をすることになった。私はテーマを「なぜ将来の夢は、なりたい職業なのか？」に設定した。なぜなら、みんな気づかないうちに、「将来の夢」に「なりたい職業」を挙げているだろう。そのような無意識な行動に、疑問を持ったからだ。

その日から私は、テーマの答えを見つけるために、余力を尽くした。来校される講師の方の経歴を調べたり、テーマの答えにたどり着くにはどのような質問をしたら良いのかを考えたり、そもそもどうして「将来の夢は？」という質問になりたい職業を挙げるのか、根本的に考えたりした。

そこからしばらくして、講師の方が来校される日になった。講師の方のお話は、私のテーマに関係のあるものだった。小学生の頃から今までの経歴、どうしてこの職業についてのかなど、テーマの答えにつながりそうだったが、直接つながるものではなかった。だから、勇気を出して、聞いてみたんだ。

「子供の頃の将来の夢と、今の夢を教えてください。」

そう聞いたら、やっぱりこう返ってきた。

「子供の頃の夢は、パイロットでした。でもなれなかったです。今の夢は、庄内のあり方を変えることです。」

みんな子供の頃の夢は職業なんだ。でも、どうして
今の夢は職業よりも目標に近いのだろうか。

こんな時はもっとデータを集めた方が良かったらう。

二人目の講師の方にも聞いてみた。そうしたら、またこう返ってきた。
「子供の頃は、電気屋さんになりたかったなあ。まほう使いみたいだった。
でも今は、農業の新しい担い手を育成したいと思ってるよ。」

二人目も「今の夢」は、目標に近い。そこで私は、こんな「答え」を見つけた。
「子供の頃の夢は、成長するにつれて目標になる。」

子供の頃のぼんやりとした夢は、成長すると、より具体的な目標になる
のではないかと考えた。

でも、ここで思い出してみしてほしい。自分自身には、「夢」はあったらうか。
今まで生きてきた中で、しっかりとそう呼べることに出会ったことは
一度も無かった。

そんな時に、私はある言葉に出会った。

「目指したいものがなくても、興味のあること、やってみたいことを
どんどん探していってほしい。」

これは、三人目の講師の方の言葉である。今の私にぴったりではないか？

そこから新しいことを「答え」に書き足した。

「『夢』はいずれ『目標』になる。もし、『夢』すら無くても、探していけばいい。」

今の私こそ、夢は無いけれど、目標をいつか見つけられるかも
しれないと考えると、自信に満ちあふれてくる。やる気がみなぎってくる。
私は探究学習を通して、将来への考え方がガラッと変わった。

そして今日から興味のあることを探してみようと思っている。

本当に楽しかった。

もしかしたら、君も夢が目標になるかもしれないね。